

2023年4月4日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

難聴が疑われて精密検査機関・二次聴力検査機関を受診した0歳-6歳児についての社会的調査

2. 研究責任者

海南病院 耳鼻いんこう科 原田生功磨

3. 研究の概要

小児難聴を発見する機会は、乳幼児健診や就学時健診などがあげられますが、健診で発見されず、遅くなって難聴が見つかった例も少なくありません。難聴は早期に発見することで、早期に対応することができるため、子どもの発達により大きな影響を与えることができます。このため、本研究では0歳から6歳までそれぞれの年齢で発見された難聴児について全国的に調査を行い、健診での難聴児発見のためにより効果的なあり方を学会として提言していくことを目的としています。（日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会が、全国的に行っている調査を当院の患者さんについても対象とし、集計したデータを提供します。）

4. 研究方法

- ① 対象となる患者さん：2020年、2022年、2024年のそれぞれ1月1日から12月31日までに難聴が疑われて当院を受診した方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後から2026年3月31日まで
- ③ 研究方法：二次聴力検査機関である当院において、1年間に難聴を疑って耳鼻咽喉科を受診された方の人数、および難聴（片方か両方か）、紹介元、などについて人数を集計します。当院も含む全国で集計されたデータ（約400機関）を、国立成育医療研究センター（責任者：守本倫子）で集計し解析をします。
- ④ 使用する試料等
カルテ情報：患者さんの年齢、難聴（片方か両方か）、以前うけた健診での聴力検査結果、紹介元（健診、医療機関からの紹介、自発的に（紹介なし））、難聴があった場合の療育先、等

5. 個人情報の取扱い

調査対象となる情報（調査票）は、人数のみを集計したデータをパスワードをかけたファイルに保存し、個人情報が存在しない状態で日本耳鼻咽喉科学会へ送られます。学会では情報を保存、集計したのち、国立成育医療研究センターにて解析を行います。結果公開は集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、調査対象となった個々の患者さんの症例の報告は行われません。個人情報は守られ、患者さんの氏名、住所など、ご本人を特定できる一切の個人情報が公表されることはありません。調査で得られた対象者のデータは本調査の目的以外には使用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 耳鼻いんこう科 原田生功磨

電話：0567-65-2511（代表）